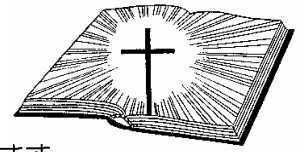


ディボーション質問表



31日(月) 雅歌 3章

1～4節シュラミテの女、5～11節既婚の男からエルサレムの娘達です。今までつきあってきた男女がいよいよ、結婚します。6節以降はそのための準備が描かれています。

1. マリッジ・ブルーとは無縁の世界がここに展開されています。なぜ現代社会は結婚に対してネガティブな印象を持つようになってしまったのでしょうか。それを打ち破る秘訣は何だと思いませんか？
2. シミ婚、ハテ婚いろいろありますが、人生最大の祝いの日です。あなたは結婚をそのようにとらえていますか？ またこのことからキリストに出会う花嫁の一部としての自分を思い、花嫁としてどんな備えをすべきだと思いますか？

1日(火) 雅歌 4章

4章は2人の結婚の成就です。ここには1～15節でのソロモンから花嫁への賛辞、16節での花嫁の応答が描かれています。

1. キリストの花嫁として、自分が同じように神から愛を告白されていると考えてみましょう。あなたならどの言葉を最も大切にしますか？ そこにキリストのどんな性質を見ますか？
2. 既婚者の方はこの言葉をどのように言い換えて自分の配偶者へのメッセージとしますか？ また未婚の方であれば、キリストへの自分の愛の応答を考えてみましょう。

2日(水) 雅歌 5章

1節前半ソロモン、1節後半神から夫婦へ、2～8節ハネムーンの終わりと夫に対する拒絶、9節エルサレムの娘達、10～16節妻から夫への再評価が記されます。

1. 現実の結婚生活の中での葛藤が見られます。あなたがよく目にする事柄は何かありますか？ 男女の違いが何かここから発見できるでしょうか？
2. この箇所を読んで、同じような気持ちになったことはありますか？ また異性に対して、あなたならこれからのように接し方を変えますか？

3日(木) 雅歌 6章

1. 1節で娘たちがシュラミテの女性のために彼と一緒に探しますよ、と誘います。しかし、彼女は彼がどこにいるか知っていると歌います。そして、ソロモンは彼女の肉体美を歌い、愛を表現します(1～10節)。→ 自分の愛の表現は具体的だろうか？ 相手の体のよいところをたたえているだろうか？
2. シュラミテの女は11、12節で思いがけずセブな環境にいた不思議を歌います。そして娘たちもそれをうらやましく思い一緒に喜びます。13節bでまだ彼女は不思議な思いを歌い、ソロモンはそれに13節cで答えます、「あなたの舞が私を楽しくする」と。→ 人の成功を快く賞賛し共感できるだろうか？ 伴侶の存在が踊り子のように自分を楽しませる存在だろうか？ そうだと感謝をあらわしたのはいつでしょう。

4日(金) 雅歌 7章

1. この章で、ソロモンは幾度となく花嫁のからだの美しさを細かにひとつずつたたえます(1～9節)。→ ソロモンのうたからアイデアを得て人をほめることをやってみましょう。 ※「象牙のやぐら」象牙はそのまま飾るほど美しいもの、やぐらは戦時中の防空壕。花嫁の白いうなじの近寄り難い美しさを描写。
2. シュラミテの女はソロモンの誉め言葉に答えます(10～13節)。→ 相手の好意を利用して独占はしていないでしょうか(10節)？ → 自分もまた相手を喜ばせるように様々なものを準備しているでしょうか(13節)？

5日(土) 雅歌 8章

1. 7:13に続き1節で兄弟のような自然な純な親密なものでありたいと願い、またねたんだり、さわいだりする人たちとの葛藤も歌っています。→ 男女関係は兄弟のような純粋で自然なものでしょうか？ → 相手の気持ちを操作しようと刺激的な行為をしていないでしょうか(4節)？
2. ソロモンは、愛はすべてを超越し何とも比べることができない、また操作や買収で得ることができないこと、愛は愛によってしか、洪水が起ころうとも変わらない真心の互いの愛でしか得ることができないことを歌います(6, 7節)。→ 自分の愛の定義はどのようなものでしょう。周りに対する、伴侶に対する愛はいかなるものでしょうか？
3. 雅歌はクライマックスを迎え、8節で花嫁の兄弟が彼女を祝福し、9節でソロモンが祝福する。10節で彼女は祝福してくれた人々におかげで素晴らしい花嫁になれたと歌います。11節でお互いの財産はお互いのものと共有することを歌い、13節で花嫁の歌声がどれほど見とれるものか賞賛する。最後は花嫁が花婿に精一杯この喜びを体で現し踊り楽しみましようとう歌う。→ 互いに賞賛し、踊ったり楽しんだりすることが自分のエネルギーになることを知っているでしょうか？